



新潟ふれ愛プラザ 〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1 (JR亀田駅東口より5分)



第19回全国障害者スポーツ大会いきいき茨城ゆめ大会 代表選手決定!

令和元年10月12日～14日に行われる全国障害者スポーツ大会の新潟県・新潟市代表選手が決定し、当法人所属の永田務選手(片上肢障害 写真右端)が1,500mで4分17秒28の県大会新記録を樹立、全国大会記録を約7秒上回る好タイムで、見事新潟市代表に選出されました。「障害者の全国大会は初めての出場だが目指すは優勝のみ」と力強くコメント。皆様の応援を宜しくお願いします。(代表名簿はスポーツ協会だよりをご覧ください)



障害者交流センターふれ愛だより	p3
聴覚障害者情報センターだより	p4
社会参加推進センターだより	p5
県身連だより(公益自主事業)	p6~7

発行
(福)新潟県身体障害者団体連合会
理事長 立川 厚太郎

電話 025-381-1474
FAX 025-381-1478
E-mail:kenshinren@n-fureaiplaza.com
<http://kenshinren.n-fureaiplaza.com>

印刷 ㈱新潟印刷

平成30年度 法人総体の事業の概要

当期は、新潟ふれ愛プラザの第3期指定管理期間（H26～30年度）の最終年度で、（福）豊潤舎、（福）視障協、県障害者スポーツ協会との共同指定管理グループとして計画通りに事業を遂行することができました。また、開設から20年以上経過したプラザの修繕にも最大限に努めてまいりました。

令和元年度から新たに5か年の指定管理者として、利用者が安全に、安心して利用できる施設運営を心掛けてまいります。

当期における法人総体の決算概要は以下の通りです。

資金収支計算書

（自平成30年4月1日 至平成31年3月31日） （単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	県受託事業収入	168,880,000	167,575,852	1,304,148	
	その他の事業収入	1,902,000	2,142,900	△240,900	
	会費収入	1,387,000	1,409,000	△22,000	
	負担金収入	19,457,000	20,009,921	△552,921	
	経常経費寄附金収入		313,004	△313,004	
	受取利息配当金収入	59,000	4,705	54,295	
	その他の収入	8,666,000	8,767,570	△101,570	
	事業活動収入計(1)	200,351,000	200,222,952	128,048	
	支出				
人件費支出	101,134,000	99,608,228	1,525,772		
事業費支出	65,682,900	61,179,577	4,503,323		
事務費支出	31,413,000	28,293,525	3,119,475		
事業活動支出計(2)	198,229,900	189,081,330	9,148,570		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,121,100	11,141,622	△9,020,522		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	積立資産支出	345,000	244,502	100,498	
	その他の活動支出計(8)	345,000	244,502	100,498	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△345,000	△244,502	△100,498	
	予備費支出(10)	2,000,000		2,000,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△223,900	10,897,120	△11,121,020	
	前期末支払資金残高(12)	101,663,787	101,663,787		
	当期末支払資金残高(11)+(12)	101,439,887	112,560,907	△11,121,020	

事業活動計算書

（自平成30年4月1日 至平成31年3月31日） （単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益				
	県受託事業収益	167,575,852	167,146,040	429,812	
	その他の事業収益	2,142,900	1,908,600	234,300	
	会費収益	1,409,000	1,553,600	△144,600	
	負担金収益	20,009,921	17,503,614	2,506,307	
	経常経費寄附金収益	313,004	3,000	310,004	
	サービス活動収益計(1)	191,450,677	188,114,854	3,335,823	
	費用				
	人件費	99,849,728	97,791,350	2,058,378	
	事業費	61,179,577	61,503,156	△323,579	
事務費	28,293,525	26,788,920	1,504,605		
減価償却費	334,122	330,723	3,399		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△133,600	△133,600			
サービス活動費用計(2)	189,523,352	186,280,549	3,242,803		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,927,325	1,834,305	93,020		
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	4,705	9,017	△4,312	
	その他のサービス活動外収益	8,767,570	8,948,561	△180,991	
	費用				
	サービス活動外費用計(5)				
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	8,772,275	8,957,578	△185,303		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	10,699,600	10,791,883	△92,283		
特別増減の部	収益				
	特別収益計(8)				
費用					
特別費用計(9)					
特別増減差額(10)=(8)-(9)					
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	10,699,600	10,791,883	△92,283		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	102,309,248	91,524,786	10,784,462	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	113,008,848	102,316,669	10,692,179	
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金積立額(16)	3,002	7,421	△4,419	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	113,005,846	102,309,248	10,696,598		

貸借対照表

（平成31年3月31日現在）

（単位：円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	142,168,723	128,910,363	13,258,360	流動負債	29,607,816	27,246,576	2,361,240
現金預金	140,620,334	127,413,667	13,206,667	事業未払金	19,698,094	18,729,352	968,742
事業未収金	1,381,522	1,326,129	55,393	預り金	7,299,872	6,092,794	1,207,078
立替金	85,225	90,165	△4,940	職員預り金	2,609,850	2,424,430	185,420
前払金	81,642	80,402	1,240	固定負債	1,867,500	2,023,500	△156,000
固定資産	43,853,728	44,340,848	△487,120	退職給付引当金	1,867,500	2,023,500	△156,000
基本財産	10,000,000	10,000,000		負債の部合計	31,475,316	29,270,076	2,205,240
定期預金	10,000,000	10,000,000		純資産の部			
その他の固定資産	33,853,728	34,340,848	△487,120	基本金	10,000,000	10,000,000	
器具及び備品	253,962	495,312	△241,350	第一号基本金	10,000,000	10,000,000	
ソフトウェア	301,509	394,281	△92,772	国庫補助金等特別積立金	110,532	244,132	△133,600
退職給付引当資産	1,867,500	2,023,500	△156,000	その他の積立金	31,430,757	31,427,755	3,002
人件費積立預金	19,385,714	19,383,904	1,810	人件費積立金	19,385,714	19,383,904	1,810
修繕積立預金	8,815,516	8,814,627	889	修繕積立金	8,815,516	8,814,627	889
備品等購入積立預金	127,426	127,426		備品等購入積立金	127,426	127,426	
運用財産積立預金	3,102,101	3,101,798	303	運用財産積立金	3,102,101	3,101,798	303
資産の部合計	186,022,451	173,251,211	12,771,240	次期繰越活動増減差額	113,005,846	102,309,248	10,696,598
				（うち当期活動増減差額）	10,699,600	10,791,883	△92,283
				純資産の部合計	154,547,135	143,981,135	10,566,000
				負債及び純資産の部合計	186,022,451	173,251,211	12,771,240

新潟県障害者交流センター ふれ愛だより

TEL 025-381-8110 FAX 025-381-1478 URL <http://kouryu.n-fureaiplaza.com/> MAIL kouryu@n-fureaiplaza.com

第22回ふれ愛春まつり

毎年恒例の「ふれ愛春まつり」が今年も4月21日(日)に盛大に開催されました。

障害のある方々によるフリーマーケットや屋台、ステージ発表などが行われ、約4,500人の来場者で賑わいました。

江南区役所をはじめ近隣福祉施設、亀田商工会青年部の皆様等が一体となって実施するこのイベントも、地域のイベントとしてすっかり定着しました。関係者の皆様、大変お疲れ様でした。来年の春まつりにもご期待ください。



豪華景品が当たるお楽しみビンゴ大会！

トップアスリートふれ愛デイ

6月2日(日)に新潟アルビレックスBBと新潟アルビレックスBBラビッツの選手をお呼びして、クリニックや交流試合を行いました。

知的障害選手を対象に簡単なウォーミングアップ、シュート練習を行い、その後ミニゲームを行いました。いつもスタンドから応援している選手と共に試合ができ、みんな楽しそうに参加していました。



最後にみんなで集合写真！

【アロマの香り教室】(5/22)

自分の好みの香りを配合して、保湿効果の高いクリームとリップクリーム、そしてアロマスプレーを作りました。アロマの香りを楽しみながら参加者同士でハンドマッサージも行い、とても楽しくリラックスした時間を過ごしました。



利用証が変更になりました！

以前より『ラミネートが剥がれやすい』『個人情報を書けないでほしい』とご要望を頂いており、この度利用証を一新しました。

以前までお使いいただいていたもの(写真左)は今後ご使用いただけなくなる可能性がありますので、お時間のある時に新しい利用証(写真右)へ切り替えをお願いします。

お手続きは交流センター受付にて承っております。皆様のご理解の程よろしくお願い致します。



新職員紹介



県身連を代表して走りぬぎます！

はじめまして。4月から新潟県障害者交流センターの職員として働いています永田 務(ながた つとむ)です。

趣味はランニングです。幼少期に肥満児だったこともありダイエットを目的に走り出し、見事成功しました！！小学生から走り始め、走歴25年になります。

2013年に100キロを初完走し、2015年に100キロの日本代表にもなりました。

交流センターでは陸上のワンポイントレッスンにも参加し、9月からは初心者を対象にしたランニング練習会も企画中です。

話しやすく、元気の職員になりたいと思います。よろしくをお願いします。

永田 務 競技報告

～第24回関東パラ陸上競技選手権～

開催場所：東京都町田市立陸上競技場 開催日：2019.07.06.SAT～2019.07.07.SUN

大会結果：男子1500m T46 4' 20" 39 1位 5000m T46 15' 56" 76 1位

感想：7月6日、7日と町田市立競技場で行われた関東パラ陸上競技選手権に参加してきました。2020東京パラリンピックを目指す選手も参加されているレベルの高い大会でした。

細かい検査、測定を行いクラス分けをしたり、視覚障害の選手とガイドランナーの素晴らしいコンビネーションを走りながら見たりととても貴重な経験ができました。



本年4月より所長に就任しました丸田です。

日ごろは、多くのご利用とご協力に感謝を申し上げます。

安心と快適に配慮したサービスに努めてまいりますので、不備やお気づきの点があれば気軽にスタッフにお声がけください。

引き続き、より多くの皆様楽しくご利用いただけるよう、職員一同、鋭意努力してまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

新潟県聴覚障害者情報センター 情報センターだより

TEL 025-381-8112 FAX 025-381-8116 URL <http://jyoho.n-fureaiplaza.com/> MAIL jyoho@n-fureaiplaza.com

きこえの相談

プレヒアメディカル株式会社・8月7日、11月6日
ニイガタエイド株式会社・9月4日、12月4日
マキチエ株式会社・10月2日、1月8日

聴覚障害者情報センター
相談室

13時30分～15時



巡回映像ライブラリー

新潟聾学校 長岡聾学校
9月10日(火) 9月11日(水)
11月19日(火) 11月20日(水)



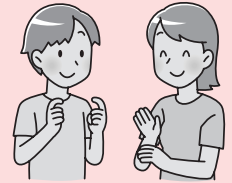
新しいDVD、本が届きました。

借りたい方はHPで確認し情報センターへ、
ご連絡ください(郵送貸出できます)



ふれ愛手話教室

日程:令和元年8月9日～11月22日(金曜日 全8回)
時間:19:30～20:30 会場:ふれ愛プラザ2階 研修室



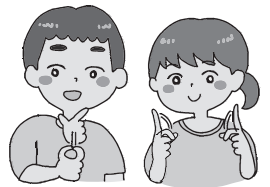
手話ソング教室

日程:令和元年8月24日～12月7日(全10回)
時間:10:00～11:30 会場:ふれ愛プラザ2階 音楽室



手話レクリエーション

日程:令和元年9月28日(土)・12月21日(土)
時間:10:30～12:00 会場:ふれ愛プラザ2階 研修室



事業の詳細につきましては当センターまでお問い合わせください。



4月からの新しい職員を紹介いたします

左…田代健一所長 右…岡野高志主任
一日も早く仕事を覚えて、皆様のお役に立てるよう
努力いたします。よろしくお願いいたします。



にいがた

社会参加推進センターだより

TEL・FAX 025-383-3654

URL <http://suishin.n-fureaiplaza.com/>MAIL suishin@n-fureaiplaza.com

「第1回障害者社会参加推進協議会（三障害合同部会）」 「障害者相談員研修会」が合同開催されました

去る7月26日（金）、新潟ふれ愛プラザにおいて令和元年度の「第1回障害者社会参加推進協議会（三障害合同部会）」と「障害者相談員研修会」が合同で開催されました。

今回は、講師に社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会長であり、東北福祉大学総合福祉学部教授である阿部一彦氏をお招きして、「心のバリアフリー周知啓発活動について～誰もが暮らしやすい社会づくりをめざして～」をテーマにご講演いただきました。



阿部講師



「心のバリアフリー」研修会

講演では、わが国の社会変革の大きな機会となった「障害者権利条約」をもとに様々な法制度が整えられてきたことや、仙台市の先進的なアクセシビリティの取り組み、そして心のバリアフリー周知啓発のための具体的なお話等について、参加者にわかりやすく説明をしていただきました。

推進協議会構成員においては、これからの周知啓発活動にむけて、心のバリアフリーの理解を深めるとともに、障害のある当事者の立場から主体的に活動を実践していく上で必要なコミュニケーションスキルの向上につながる有意義な講演会になりました。

また、障害者相談員においては、講演会のあと引き続き、グループ情報交換会が行われました。その中では、相談員同士がお互いに相談者への接し方や相談内容の対応、さらに、これまでの体験からアドバイスをし合う等、今後の活動につながる良い機会となりました。



情報交換会

- <活動目標> ～三つの気づき～
- (1)「障害はどこにあるのか?」を理解する
（「障害の社会モデル」の理解）
 - (2)社会にある「バリア」によって人々に生じている
困りごとや痛みに気づく
 - (3)共生社会を作るために、具体的な行動を起こす

「心のバリアフリー」周知啓発活動の報告 Vol.1

新潟市立江南小学校4年生

新潟市立江南小学校4年生の総合学習で「心のバリアフリー」の授業を2回行いました。

1回目は聴覚障害のある岡野高志氏の講話。生活の中での困りごとや工夫していることなど、子どもたちの質問に手話を取り入れながらお話していただきました。子どもたちは、聴覚障害があっても色々なスポーツや仕事ができること、手話以外にも口話や筆談などコミュニケーションの取り方もたくさんあることに、興味深く真剣な表情でメモを取っていました。簡単な手話講座もあり、最後は子どもたちから岡野氏へ手話で「ありがとう」と伝えられました。



藤田講師



岡野講師

2回目は視覚障害のある藤田芳雄氏の講話。障害者となってから、点字の勉強やスポーツなど様々な努力と挑戦を重ねてきたお話や盲導犬の話に、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。また、盲目のマジシャンとしてマジックの披露もあり、障害がある人もない人も「できるまで挑戦・努力・工夫」が大切であるとの言葉に、多くの子どもたちが感銘を受けたようでした。

お知らせ

障害者110番運営事業は、平成31年3月末をもって終了しました。

今後、障害者の権利擁護に係る相談につきましても、お住まいの市町村に相談窓口をお尋ねください。

県身連だより (公益自主事業)

TEL 025-381-1474 FAX 025-381-1478 URL <http://kenshinren.n-fureaiplaza.com/> MAIL kenshinren@n-fureaiplaza.com

平成30年度 公益事業決算報告

* 当期における公益事業の決算概要は以下のとおりです。

資金収支計算書

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日) (単位:円)

事業活動計算書

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日) (単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	その他の事業収入	1,372,000	1,373,700	△1,700
	会費収入	1,387,000	1,409,000	△22,000
	経常経費寄附金収入		310,004	△310,004
	受取利息配当金収入	1,000	302	698
	その他の収入	7,056,000	7,222,092	△166,092
	事業活動収入計(1)	9,816,000	10,315,098	△499,098
支出	事業費支出	4,740,000	4,664,495	75,505
	事務費支出	6,342,000	6,173,791	168,209
	事業活動支出計(2)	11,082,000	10,838,286	243,714
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,266,000	△523,188	△742,812
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	施設整備等支出計(5)			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)			
	支出			
	その他の活動支出計(8)			
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			
	予備費支出(10)			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△1,266,000	△523,188	△742,812
	前期末支払資金残高(12)	12,399,478	12,399,478	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	11,133,478	11,876,290	△742,812

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収入			
	その他の事業収益	1,373,700	1,378,200	△4,500
	会費収益	1,409,000	1,553,600	△144,600
	経常経費寄附金収益	310,004		310,004
	サービス活動収益計(1)	3,092,704	2,931,800	160,904
	事業費	4,664,495	4,740,520	△76,025
	事務費	6,173,791	6,147,834	25,957
サービス活動増減差額の部	サービス活動費用計(2)	10,838,286	10,888,354	△50,068
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△7,745,582	△7,956,554	210,972
	受取利息配当金収益	302	296	6
	その他のサービス活動外収益	7,222,092	7,396,570	△174,478
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計(4)	7,222,394	7,396,866	△174,472
	サービス活動外費用計(5)			
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	7,222,394	7,396,866	△174,472
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△523,188	△559,688	36,500
特別増減の部	特別収益計(8)			
	特別費用計(9)			
	特別増減差額(10)=(8)-(9)			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△523,188	△559,688	36,500	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	12,399,478	12,959,166	△559,688
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	11,876,290	12,399,478	△523,188
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	11,876,290	12,399,478	△523,188

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	13,673,438	14,168,384	△494,946	流動負債	1,797,148	1,768,906	28,242
現金預金	13,506,013	14,079,319	△573,306	事業未払金	1,656,498	1,618,231	38,267
事業未収金	83,600		83,600	預り金	140,650	150,675	△10,025
立替金	83,825	89,065	△5,240	負債の部合計	1,797,148	1,768,906	28,242
資産の部合計	13,673,438	14,168,384	△494,946	純資産の部			
				次期繰越活動増減差額	11,876,290	12,399,478	△523,188
				(うち当期活動増減差額)	△523,188	△559,688	36,500
				純資産の部合計	11,876,290	12,399,478	△523,188
				負債及び純資産の部合計	13,673,438	14,168,384	△494,946



就任のご挨拶

県身連代議員会 会長 にしやま まきお 西山 眞樹雄

令和時代の幕開けとともに、今年度、県身連代議員会会長に就任いたしました。今回で3期目となりますが、引き続き、宜しくお願い申し上げます。

さて、新しい元号を迎えましたが、昭和、平成と時代の流れとともに、我々障害者を取りまく環境もまた、大きく変化してまいりました。

現在、私たちが障害者手帳を取得し、様々な恩恵（福祉サービス）を受けられるのは、昭和時代の先人諸兄姉の弛まぬ努力があったからこそと、今改めて深く感謝し、あわせて、私たちは先人たちのその努力を享受するに留まらず、この遺産を次なる世代・時代へと繋いでいかなければならないと強く感じております。

戦後の苦しい時代に先人たちの多大なる努力で築き上げられたこの県身連も、時代とともにその組織率は年々低下し続けており、今では障害者手帳交付数の7パーセント程度までに落ち込んでいます。

そして、それに伴い財源の確保が厳しい状況ではありますが、今こそ、私たちは差別のない豊かな社会を実現するためにも、一人ひとりが団結し、会員の皆様の知恵をお借りしながら障害者福祉の向上に取り組んでまいりたいと思いますので、皆様方の一層のお力添えを心よりお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

代議員の紹介

今年度、公益自主事業は新たなメンバーでスタートしました。

よろしくお願ひいたします。

【会長】西山眞樹雄

【副会長】中村 芳郎 加藤マリ子



【代議員】

No.	区分	氏名	所属団体
1	第1地区	<small>かとう</small> 加藤マリ子	聖籠町身体障害者団体福祉会
2	第2地区	<small>にしやま まきお</small> 西山眞樹雄	五泉市身体障害者福祉協会
3	第3地区	<small>やましろ かずお</small> 山城 一雄	佐渡市身体障がい者福祉協議会
4	第4地区	<small>なかむら よしろう</small> 中村 芳郎	燕市身体障害者福祉協会
5	第5地区	<small>ふじた ましお</small> 藤田 芳雄	長岡市身体障害者団体連合会
6	第6地区	<small>あしたし まさひろ</small> 佐藤 加代	魚沼市身体障害者福祉協議会
7	第7地区	<small>しもとり まさひろ</small> 霜鳥 正弘	妙高市身体障がい者福祉協会
8	障害種別	<small>おおすぎ ひろあき</small> 大杉 廣明	新潟県車椅子友の会

(敬称略)

第64回日本身体障害者福祉大会「あきた大会」が開催されました

5月22日～23日に秋田県秋田市で開催された大会は、全国から身体障害者団体連合会の会員などが延べ1,500名参加し、盛大に開催されました。



日本身体障害者福祉大会の様子

大会決議

- 一、障害の社会モデルの理解啓発を強く推進しよう
- 一、地域に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 一、災害時における被災者支援の充実を図ろう
- 一、障害者差別を禁止する条例を全国に制定させよう
- 一、地域の相談支援体制に身体障害者相談員を活用しよう

令和元年5月23日
第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会

式典では、日本身体障害者団体連合会の阿部会長が挨拶され、秋田県知事を始めとする来賓の挨拶の後、全国の身体障害者福祉功労者（53名）が表彰されました。今回、新潟県から津南町の中島勝光様^{なかしまかつみつ}が受賞されました。

議事では、日本身体障害者団体連合会の2018年度事業報告と2019年度事業計画が報告された後、大会宣言、大会決議が採択されました。来年は広島県で開催されます。

日身連会長表彰

受賞おめでとうございます。

なかしま かつみつ
中島 勝光 様

(津南町身体障害者互助会 会長)

本田佐敏県身連前会長 ご逝去

平成5年から平成27年までの長きにわたり当連合会の会長を務められ、新潟県の障害福祉の発展に多大な貢献を尽くされた本田佐敏前会長が、老衰のため令和元年7月20日に85歳で逝去されました。ご生前のご厚情に深く感謝申し上げますとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

新潟県障害者スポーツ協会だより

TEL 025-383-3610 FAX 025-381-1478 URL <http://sports.n-fureaiplaza.com/> MAIL sports@n-fureaiplaza.com

JAバンク新潟県信連様よりご寄贈をいただきました

JAバンク新潟県信連様より、今年度も社会貢献事業の一環として、2019 アルビレックス新潟ホームゲームシーズンパスをご寄贈いただきました。

アルビレックス新潟の試合を通じて、障害のある方々の余暇活動の充実と県内の障害者スポーツ振興の一助になるよう、県内の障害者施設や特別支援学校等を中心に、チケットをお配りさせていただきます。観戦をご希望される、施設・学校等につきましては、当協会事務局までお問い合わせください。



第19回全国障害者スポーツ大会（茨城）への派遣について

令和元年10月12日（土）～14日（月）の会期で「第19回全国障害者スポーツ大会 いきいき茨城ゆめ大会」が開催されます。

本大会には、5月に開催された「第20回新潟県障害者スポーツ大会（個人競技）」の結果をもとに以下の選手が選考されました。また、6月三重県で開催された「北信越東海ブロック予選会」で優勝を果たした知的障害女子バレーボール（新潟市選手団）も北信越東海ブロックの優勝チームとして派遣されます。

新潟県選手団と新潟市選手団の活躍をご期待ください。

《新潟県選手団》26名

	競 技	氏 名	性別
1	陸上競技	鈴木 彩花	女
2	陸上競技	奥田 柊	男
3	陸上競技	高井 昌雄	男
4	陸上競技	松田 将太郎	男
5	陸上競技	瀧澤 優	男
6	陸上競技	久保 翔太	男
7	陸上競技	佐藤 秀一	男
8	陸上競技	馬場 翔太	男
9	陸上競技	波多 雄介	男
10	陸上競技	小野 みなみ	女
11	水泳	志水 揚子	女
12	水泳	山田 請治	男
13	水泳	遠藤 立公	男
14	水泳	恩田 桂太	男
15	卓球	新井 孝太郎	男
16	卓球	阿部 陽一	男
17	卓球	山田 航大	男
18	卓球	中山 とい子	女
19	フライングディスク	濱口 貴廣	男
20	フライングディスク	吉田 とき子	女
21	フライングディスク	稲川 隆	男
22	フライングディスク	水口 了圭	男
23	フライングディスク	田井 愛果	女
24	フライングディスク	刈屋 祐誠	男
25	フライングディスク	渡部 真矢	男
26	ボウリング	小林 拓矢	男

《新潟市選手団》27名

	競 技	氏 名	性別
1	陸上競技	佐藤 泰貴	男
2	陸上競技	永田 務	男
3	陸上競技	佐藤 未希	女
4	陸上競技	平野 航	男
5	陸上競技	熊倉 貴広	男
6	陸上競技	栗原 大海	男
7	陸上競技	小林 千晶	女
8	水泳	大沼 寛	男
9	水泳	蓮野 巧人	男
10	アーチェリー	馬場 政貴	男
11	卓球	飯島 靖子	女
12	卓球	井上 博徳	男
13	卓球	銀山 直樹	男
14	卓球	森林 伸一	男
15	フライングディスク	加藤 勝実	男
16	フライングディスク	小田島 敏郎	男
17	フライングディスク	八藤後 圭祐	男
18	フライングディスク	渡辺 颯希	女
19	ボウリング	滝沢 慎平	男
20	バレーボール	江川 千賀	女
21	バレーボール	吉川 時恵	女
22	バレーボール	高橋 里実	女
23	バレーボール	高橋 美希	女
24	バレーボール	小山 優佳	女
25	バレーボール	山際 晶子	女
26	バレーボール	阿部 麻衣	女
27	バレーボール	小野崎 那々	女